

- 問1 中部地方における農業の特徴に関する説明として最も適当なものを、次のうちから1つ選びなさい。（2026年 熊本県公立入試 類似）
- 長野県では水はけのよい台地を生かして茶の栽培が行われ、静岡県では夏の冷涼な気候を生かしてトマトの抑制栽培が行われている。
 - 長野県では平水域を生かしてのりや貝類の養殖が行われ、静岡県では冬の冷涼な気候を生かして茶の促成栽培が行われている。
 - 長野県では冬の温暖な気候を生かしてトマトなどの促成栽培が行われ、静岡県では平野の水田を生かしてレタスの栽培が行われている。
 - 長野県では夏でも涼しい高原の気候を生かしてレタスなどの抑制栽培が行われ、静岡県では台地などの地形を生かして茶の栽培が行われている。
- 問2 日本の標高を示した資料において、北側の富山県側から順に飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈という3つの険しい山脈が並んでいる地域を指す総称と、それらの山脈の多くが位置する県の名称の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2019年 大阪府公立入試 類似）
- 中国山地 ― 岡山県
 - 日本アルプス ― 長野県
 - 奥羽山脈 ― 岩手県
 - 越後山脈 ― 新潟県
- 問3 静岡県内の工業都市とその特徴について述べた次の文のうち、東海工業地域の特色を正しく表しているものはどれですか。（2026年 山形県公立入試 類似）
- 東京都から神奈川県にかけての沿岸部に位置し、出版・印刷業や、高度な技術を要する中小企業の工場が密集している。
 - 名古屋市や豊田市を中心に、日本最大の出荷額を誇る自動車工業が集積しており、周辺には石油化学コンビナートも形成されている。
 - 浜松市を中心にオートバイや楽器の製造が発展し、富士市では富士山の豊富な湧水を利用した製紙業が盛んに行われている。
 - 高速道路のインターチェンジ周辺に、安価で広い用地を求めて自動車工場や電気機械の工場が移転し、内陸型の工業が発達している。
- 問4 日本海に面した上越市では、1月の降水量が400mmを超えるなど、夏よりも冬に降水量が多くなる「日本海側の気候」がみられます。冬にこのような気象状況が発生する理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）
- 北西の季節風が日本海を渡る際に湿気を蓄え、山脈にぶつかって雪を降らせるため
 - 梅雨や台風の影響を強く受けることで、1月を中心に雨雲が発達しやすいため
 - 太平洋から湿った空気を運ぶ南東の季節風が、日本海側に大量の雨をもたらすため
 - 内陸部で冷やされた空気が海へ向かって吹き降り、地表付近の気温が急激に下がるため
- 問5 岐阜県などの濃尾平野下流部で見られる「輪中」と呼ばれる集落の形態について、その目的と土地の様子を正しく説明しているものはどれですか。（2025年 兵庫県公立入試 類似）
- 日本海側からの強い季節風と積雪による被害を防ぐために、集落の北側に高い石垣と防風林を設置している。
 - 丘陵地での果樹栽培において、土砂崩れを防ぐために等高線に沿って段々畑を作り、その維持のために強固な石垣を組んでいる。
 - 木曽三川の合流点に近い低湿地において、頻繁に発生する洪水などの水害から集落や耕地を守るために周囲を堤防で囲んでいる。
 - 干拓によって新しく作られた農地において、土壌の塩分を抜くための排水路を複雑に巡らせ、管理用の土手を築いている。
- 問6 愛知県に位置し、東京（羽田・成田）や新千歳、那覇、福岡、鹿児島といった全国の主要都市と、年間旅客数が100万人を超える大規模な航空路線で結ばれている空港として正しいものを次の中から選びなさい。（2022年 熊本県公立入試 類似）
- 大阪国際空港
 - 中部国際空港
 - 関西国際空港
 - 成田国際空港
- 問7 中部地方の太平洋側に広がる中京工業地帯および東海工業地域について述べた文として、正しいものはどれか。（2015年 大分県公立入試 類似）
- 静岡県の浜松市などで、オートバイや楽器の製造、精密機械工業が盛んに行われている。
 - 岡山県倉敷市の水島地区などに大規模な石油化学コンビナートが形成され、原料の輸入に依存している。
 - 北九州市を中心に官営の製鉄所が建設されたことで発展し、現在も鉄鋼業が中心である。
 - 千葉県から茨城県にかけての臨海部において、大規模な掘り込み港を中心に重化学工業が発達した。
- 問8 静岡市が作成している防災情報に関する資料では、津波による浸水が想定される区域を明確にするだけでなく、住民の命を守るための「ソフト対策」としての情報が充実しています。このような防災地図において、避難の実効性を高めるために、浸水想定区域とあわせて記載すべき情報として最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
- 地域の特産品であるお茶の栽培面積と主な出荷先
 - 観光客向けの宿泊施設一覧と、主要な景勝地の名称
 - 避難場所の位置や、そこへ至るまでの具体的な避難方向
 - 過去10年間における世帯数推移と年齢別人口構成
- 問9 静岡県の太平洋沿岸部の気候特色である「冬の気温が高い」ことや「日照時間が長い」ことを生かして、この地域で古くから盛んに行われてきた産業の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
- 茶の栽培や、温暖な気候を利用したビニールハウスによる施設園芸農業
 - 豊富な雪解け水を利用した、大規模な水田単作による稲作
 - 冷涼な気候に適した、キャベツやハクサイなどの高原野菜の栽培
 - 乾燥した気候に適した、小麦やライ麦の広大な農地での栽培
- 問10 日本列島の中央部に位置する新潟県は、東北地方、関東地方、中部地方の各県と広く境界を接しています。新潟県が陸上で直接境界を接している隣接県の数はいくつですか。（2018年 三重県公立入試 類似）
- 4つ
 - 7つ
 - 6つ
 - 5つ
- 問11 東海工業地域において、輸送用機械や製紙、楽器といった多種多様な製造業が発達した背景や地理的要因として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 山形県公立入試 類似）
- 中京工業地帯の過密化を避けるために、政府の計画によって大規模な埋め立てが行われ、そこに鉄鋼業や石油化学工業などの基礎素材産業が誘致されたこと。
 - 日本最大の消費地である東京都に隣接しているため、生鮮食品の加工や衣類などの軽工業から始まり、現在は重化学工業が中心となっていること。
 - 古くから養蚕業が盛んであったため、そこから発展した繊維工業の技術を基盤として、戦後は一貫して電子部品や半導体などの先端技術産業に特化したこと。
 - 太平洋沿岸の平野部に位置し、東海道新幹線や東名高速道路などの交通網が整備されているため、物流の利便性が高く、さらに富士山周辺の豊かな水資源を工業用水として活用できたこと。
- 問12 日本の気候区分のうち、周囲を高い山々に囲まれた盆地で見られる、年間を通じて降水量が少なく、夏と冬の気温の差が大きい気候を何といいますか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
- 日本海側の気候
 - 瀬戸内の気候
 - 太平洋側の気候
 - 中央高地の気候
- 問13 富山県砺波市などの散村地域において、1960年代には曲線状で細かく入り組んでいた道路が、1990年代後半には直線状の道路へと再整備されました。このような土地基盤の整備を中心となって進めた事業の名称として、最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
- 農業構造改善事業
 - 高度経済成長事業
 - 国土利用計画事業
 - 地方創生整備事業